



○歴史の偉大さと仲間との活動の素晴らしさを感じた

6年生「修学旅行」



6月15日・16日に京都・奈良方面へ、6年生全児童が参加して、修学旅行に行ってきました。子どもたちは、事前の取組から一生懸命に活動し、スローガン「学年みんなで団結して、歴史を学び、一生心に残る思い出を作ろう」のもと、それぞれの活動や班別研修など、学年全体で力を合わせてやりることができました。社会科で学習したことを実際に確かめるように世界文化遺産、国宝など本物に触れ、その当時のことを思いえがくなど、新しいことをたくさん学ぶこともできました。そして、仲間との班別行動・宿泊・自分でお土産を選んで買う経験などは、子どもたちにとって大きな喜びであったようです。修学旅行後の振り返りの一部を紹介します。いろいろな面で子ども達の充実感を感じることができます。

1日目は、世界最古の木造建築・法隆寺などを見に行っただ。その中でも強く心に残ったのは、奈良公園での班別行動です。色々大変なことはあったのですが、動物とのふれあいが久々だったので、少し嬉しかったです。2日目は、タクシー研修などで京都を満喫しました。心に強く残ったのは、最後のお土産爆買いです。30分という短い時間の中、たくさんお土産が買えたので嬉しかったです。(HRさん)

- 班や学年で協力し合うと、目標が達成できると分かって、もっと自分から色々な人と関りたいと思った。
- 掃除長としてのバスでのゴミ確認やベッドメイキングも責任をもってできた。
- 自分の責任をしっかりとこなすと、たくさんの方が気持ちよく生活できるから、これからも自分の仕事をしっかりとやっていきたいと思った。(MKさん)

修学旅行をとおして、時間を見ながら見通しをもって行動する力がついたと思います。班別研修では、何時に集合なら今どうすればいいのかわか、考えて行動しました。お買い物も、決められたお金の中でお土産を買い、うまく計画が立てられました。班のみんなと協力して、楽しい修学旅行にすることができました。そして、たくさん歴史を学びました。この学びを活かしていきたいです。(KIさん)

この修学旅行を通して、子どもたちがまた一歩成長し、自分たち(学年や学級)の高まりとともに最高学年として全校をリードしていく姿や自信に繋げていってほしいと期待しています。

○「挑戦」(Keep trying)の夏休みから、休み明けの活動へ

夏休み前の集会で、この夏休みは「挑戦する」(=keep trying)夏休みにしていこう!と話しました。子ども達は、夏休みをととても楽しみにしています。何か楽しいことややってみよう(=挑戦したい)ことがあるのでしょうか。しかし、挑戦するということは、すぐにうまくいくことばかりではありません。何度やってもうまくいかない事、挙句の果てにどうしていいかわからなくなってしまう事もあるでしょう。でも、何とか諦めてしまわずに、粘り強く挑戦していってほしいと考えています。お子さんのどんな部分を支えてあげることが、粘り強く挑戦していける姿につながっていきますか?ほんの少しの声かけで頑張れる子、随分支えが必要な子、それは、挑戦している内容によっても違ってきます。しかし、育てていきたいのは、挑戦する気持ちを持ち続けていける(=「やりぬく」)ことだと思っています。失敗にも屈しないお子さんの力を少しずつ引き出してあげてほしいと願っています。よろしくお祈りします。

失敗をしつつもそんな挑戦をして、自分の強みを強化したり少しでも弱さを克服したりした経験をもつ子は一回りも二回りも大きく成長して、自信をつけて休み明けを迎えます。どの子も、休み明けのスタートが自信いっぱい切れると信じています。きっと、その自信が次の活動の活力になってくるに違いありません。